

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅳ		
担当者(Instructors)	Tran ThiTuyetNhung	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)
専門演習Ⅱでは、専門演習Ⅰで設定した研究テーマに対してデータ収集、分析、及び考察を行う。研究スキルを身に付け、論文の作成及び発表を行う。3年後期末に「8,000文字」の論文を執筆し、4年は「16,000～30,000文字」の卒業論文を目指す。

■ 授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習 ディスカッション、発表

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	演習の概要 演習の進め方	☐
第2回	研究テーマの再検討	専門演習Ⅰの振り返り 研究テーマの再検討 リサーチクエスチョン、仮説の再検討 検証方法の再検討	☐
第3回	証拠・データの収集（1）	データの収集方法を検討する。 データを収集する。	☐
第4回	証拠・データの収集（2）	データの収集方法を検討する。 データを収集する。	☐
第5回	データの分析（1）	データ分析の手法を検討する。 データ分析を行う。	☐
第6回	データの分析（2）	データ分析の手法を検討する。 データ分析を行う。	☐
第7回	分析結果の考察（1）	分析結果を考察する。 分析結果から結論を引き出す。	☐
第8回	分析結果の考察（2）	分析結果を考察する。 分析結果から結論を引き出す。	☐
第9回	論文の作成（1）	データ収集・分析・考察を行う。 論点及び理論のフレームワークを検討する。 論文を執筆する。	☐
第10回	論文の作成（2）	データ収集・分析・考察を行う。 論点及び理論のフレームワークを検討する。 論文を執筆する。	☐
第11回	論文の作成（3）	データ収集・分析・考察を行う。 論点及び理論のフレームワークを検討する。 論文を執筆する。	☐
第12回	論文の作成（4）	データ収集・分析・考察を行う。 論点及び理論のフレームワークを検討する。 論文を執筆する。	☐
第13回	論文の中間発表（1）	プレゼンテーションの資料を作成する。 研究発表を行う。 質疑応答	☐

第14回	論文の中間発表（2）	プレゼンテーションの資料を作成する。 研究発表を行う。 質疑応答	☐
第15回	まとめ	演習のまとめ	☐

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)
企業や業界や経営課題などについて関心のあるテーマを調べておく。必要な論文・資料の収集、読み込み、整理などをする。（予習の2時間） ゼミで提示された内容や収集した論文・資料の振り返りを行う。研究発表資料の作成を準備する。（復習の2時間）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
演習において研究方法、論文作成、研究発表等について適宜指導・助言を行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2021地域ビジネスDP2	研究内容についてPPT資料を作成し発表できる。
主体性	◆ 2021地域ビジネスDP3	論文の構成が理解できる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			60%	40%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)				
研究成果（論文、データ収集）：60％研究発表・質疑応答：40％				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	無し	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	演習で適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		